

人間尊重の経営を行います

安全衛生方針

全ての事業場で法令を遵守し、労働災害の防止および安全衛生水準の向上に努めます

安全衛生スローガン

繰り返し型労働災害、公衆災害および交通事故の絶滅
～安全ルールの厳守～

安全衛生目標

① 災害抑制目標

- 死亡・重大災害発生 ゼロ
- 休業4日以上労働災害発生件数 5件以下
- 事故災害発生件数 100件以下

② 安全目標

- 不安全行動・不安全状態による労働災害の防止
- アスファルト混合所での事故・労働災害の防止
- 交通事故の防止
(安全運転管理者等による指導強化)

③ 衛生目標

- 社員の健康状態の把握、異常所見者に対する保健指導の徹底
メンタルヘルス対策
- 協会社従業員の健康状態の把握
- 職業性疾病(特に熱中症)の予防

安全衛生活動

安全大会(安全意識の高揚)

毎年6月には全店で安全大会を実施します。安全大会では、労働安全衛生マネジメントシステムに基づき、前年度の事故・災害の反省のうえに策定した今年度の「安全衛生対策要項」をすべての工事関係者に周知するとともに、事故防止への積極的な取り組みを行った工事関係者や優良現場に対して表彰を行います。



安全パトロール(安全衛生管理のレベルアップ)

不安全行動による労働災害や不安全状態による公衆災害の撲滅のため、安全パトロールを行い、職場の安全意識を向上させるとともに、現場の安全衛生計画やグリーンファイルの作成状況等を確認、指導します。

また、職場の安全と従業員や作業員の健康を守るため、経営者自らも定期的に現場に足を運び、現場の実態を把握するよう努めています。



社長現場概要確認



社長安全訓話



社長現場パトロール

交通事故防止対策

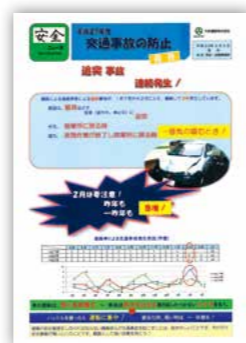
営業所、混合所等ほとんどの事業場での移動手段は自動車です。各事業場では安全運転管理者やそれに準ずる者が責任を持って安全運転の指導を行い交通事故防止に努めています。

また、必要に応じ急発進、急停車、スピードオーバーなどの危険挙動をメールで配信する「テレマティクスサービス」や人身事故率の高い追突事故対策として、自動ブレーキ機能付き車両や「モービルアイ」等の衝突防止補助システムを導入し、事故防止と交通マナーの向上を図っています。

安全ニュースの発行

事故・災害事例や関係法令の改正など労働安全衛生に関する情報を「安全ニュース」として発信しています。(2016年3月末909号発行)

安全ニュースは、安全衛生協議会の教育資料としても活用されています。



人材育成

創造と挑戦の意欲に満ちあふれた人を育成します

教育制度

自己研鑽・OJTを基本とし、成長に合わせた必要知識の習得を目指し、教育を実施しています。



新入職員研修

社会人として働くにあたって不可欠な内容を幅広く教育していきます。

4月に開催する新入職員研修では、社会人として必要なマナー教育のほか、技術の専門教育を実施します。また、12月に新入職員研修報告会を開催します。各々の研修内容を発表することで、お互いに刺激を受け、大林道路の職員としての意識を高めます。



研修を通して感じたこと

(新入職員研修アンケートより抜粋)

- 会社が自分に何を期待しているのかが分かった。
- 同期は最高の仲間であり最大のライバルと感じ、同期からも多くのことを学んだ。
- これからの人生を逆算し、将来をイメージしながら仕事をするのが社会人として大切なことを学んだ。
- とにかく誰の話でも一度耳を傾け、自分を見つめなおすということが必須であると感じた。
- コンプライアンスの重要性についての講義が最も印象に残った。
- 講師の方々から私たちのこれからの会社での活躍を期待しているという思いがとても伝わった。



現場をイメージできました

武田 弘志

那須での技術者研修は舗装、業務に対する基礎知識の講義、レベル、光波を用いた測量実習を行いました。講義は現場で使われている工事日報や、現場の写真などが一つひとつ資料にまとめてあり実際の仕事をイメージしやすいものでした。



研修が仕事の根幹に

佐々木 一繁

那須での研修では、現場に出るための基礎力をつけることができました。また、同期と寝食をともにすることで、仕事以外のことも多く学ぶことができました。そして那須の研修がこれからの仕事の根幹になったと思います。



現場で研修の意義を実感

田中 蓮

土木用語の勉強から始まり、レベルや光波を使っての実習で身につけた知識は、実際に現場に出ている今ではとても役に立っています。講師の方が親切に教えてくださるので自分一人では分からないことも気軽に聞くことができました。

人材育成

職場見学

学生の専門知識や就職意識の向上をサポートしています。

工事現場、営業所、プラント、機械センター、技術研究所の見学会を開催し、仕事に対するやりがいや建設業が社会に果たす役割を理解していただきます。



外構工事



営業所



技術研究所



機械センター



アスファルトプラント



太陽光発電現場



本店

若年社員研修・中堅社員研修

入社4年目・8年目の技術職員を対象に「技術力向上意欲の喚起」「予算管理意識の高揚」「施工管理能力の向上」を目的とした研修を実施しています。

技術職員としての能力向上はもちろん、企業人としての心構えについて再認識する研修に取り組んでいます。



管理職研修

初級管理職・管理職・営業所長等を対象に、各階層別に研修を実施しています。

管理監督者としての「組織マネジメント力」「人材形成」「課題形成解決能力」「経営者の視点に立ち全社最適の角度から判断する俯瞰的感覚」を養うことを目的に取り組んでいます。



女性職員の活躍 ～未来の大林道路を担う人材に向けて～

大林道路では、多くの女性職員が活躍しています。今回は土木技術者として日々施工管理業務に取り組んでいる鎌田工事主任に大林道路、建設業界の魅力について語っていただきました。

自分の手で 作り上げていくことの やりがいを実感しています

— 現在の担当業務について教えてください。

東北支店釜石営業所で施工管理をしています。現在、岩手県大槌町方面の防災集団移転団地整備工事を担当しています。

— 大学で土木を学ぼうと思ったきっかけを教えてください。

子供のころから歩道橋が好きでした。自分で歩道橋を作りたいと思ったのがきっかけだったと思います。

— 大林道路に入社した経緯について教えてください。

大学生のとき、実家の近くの高速道路の現場を見学に行きました。その現場は大林道路が施工していた現場でした。そして、会社名を覚えていたので会社説明会に参加したのがきっかけです。

— 入社する前と入社した後のギャップについて教えてください。

仕事が終わればドラマみたいどこかお店に寄り道とかして帰れるのかなと思っていましたが、全くそのようなことが出来ませんでした（そもそも作業服なので……）。仕事のオンとオフの切り替えが仕事を続けていくことで大事なことだと感じています。

— 今まで経験した工事での成功と失敗を教えてください。

失敗したことは測量間違いや材料の注文間違いなど、山ほどあります。でもなぜか成功したことはなかなか思い出せません。一度失敗したことは二度としないようにすること、失敗を必要以上におそれない「トライアンドエラー」を心がけています。日々勉強です。

— 今後の目標や夢について教えてください。

建設会社では女性はまだまだ働きにくいと思います。現場だとなおさらです。しかし、社会資本をこの手で作っているという充足感と責任感をもって取り掛かれる素晴らしい仕事です。最近現場に出る女性も多くなっているので、さまざまなかたちで、女性が働きやすい環境を提案できればいいと思います。

— 学生の皆さんへメッセージをお願いします

就職は人生の大きな分かれ道ですので、焦ることなく自分のやりたいことを見つけられればいいと思います。何よりも健康第一で頑張ってください。

鎌田 真由子

入社年：平成9年
現所属：東北支店釜石営業所
所有資格：1級土木施工管理技士
1級造園施工管理技士
コンクリート技士 等
趣味：主人と日帰り温泉めぐり



工事事務所にて



東北支店濱支店長と



現場見学会にて学生に現場の説明



担当現場での発破作業